

技術・家庭科夏休みの課題

発明創意くふう展に出品する作品を考えよう。

発明・創意・工夫された作品は、私たちの生活に広く浸透し、私たちの暮らしと心を豊かにしています。また、実用化された生徒の作品も増えてきています。自分の考える力や発想力を生かし、新しいものを作り出してください。生活の中で「不便だと感じたこと」や「こんなものがあったらいいなあ」と思うものをまとめ、夏休み中に作品にしよう。

埼玉県発明創意くふう展の出展について

- ・夏休み中で計画的に、作品を完成させる。2学期最初の授業で発表会をします。
- ・校内審査→市内審査→北足立南部発明創意くふう展→埼玉県発明創意くふう展→全国展へ

作品紹介カードの書き方

* 作品名

- ・作品のイメージを作り上げるものです。印象的なネーミングにしてください。
- ・わかりやすい作品名で作品の特徴が表されているもの。

1. 動機

- ・どうして、この作品を作ることになったか？きっかけについて、くわしく書く。
- ・どうして、作りたいと思ったか？
- ・どうして、このようなものが欲しいと思ったか？

2. 創意くふうの要点

(1) 工夫した点

- ・どんな所を工夫したか
- ・工夫している所や良い部分（セールスポイント）を書く
- ・色鉛筆やカラーペンを使って、図を入れると良い。

3. 使用法と効果

(1) 作品の説明

- ・どのような手順で利用するのか。説明する図を描き、説明する。
- ・使用上の注意も記入する。
- ・どのようにして、使うのか。利用方法や利用する場面を記入する。
- ・どんな時に使うのか。

(2) 将来性

- ・改善点などがあったら書く。
- ・こんな所にも使える、使うことができそう。
- ・色鉛筆などを使って、色を塗って、見やすく、わかりやすく図や表を書く。

4. 製作費用

- ・作る際にかかった費用をかいてください。

作品名			
年 組 番 氏 名			
1. 考案の動機			
2. 工夫したところ			
3. 使用法と効果 (図を含む)			
4. 製作費用			
円			
【評価項目と観点・先生が記入】			
提出期限までに提出できた。	工夫された内容が多い。	技術的に見て、製作することができる。	見やすく記入されている。
A B C	A B C	A B C	A B C

* 2 学期最初の技術・家庭科の授業の始めに提出する。